

開催日時

★2020年8月1日（土）

★13:00-17:00

12:30より受付開始

参加無料

文科省委託事業
「スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの
常勤化に向けた調査研究」

開催方法が
変更となりました

今般の新型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえ、オンライン（Zoom）のみでの開催となりました。

お申込みいただきました方には追って、オンライン開催の詳細についてメールにてご連絡いたします。

文部科学省からもご参加
いただきます

スクリーニングによるチーム学校作り

対象：スクリーニング実施自治体・実施校教員、SC、SSW等

※スクリーニングに関心をお持ちの自治体・教員、SC、SSW等

卒業式や入学式ができないまま休校が続き、子どもたちも学校も前代未聞の大変な状況とお察しします。しかし、だからこそ登校を迎える児童生徒の理解がより必要という声もいただいています。今こそ見えていない課題に視点の違う他職種交えたチームで乗り越える機会ではないでしょうか。2017年中教審答申によって出された「チームとしての学校」、さらにその具体的な役割や機能を記載した「児童生徒の相談体制の充実について」報告書のなかでSCやSSWのあり様が明確化されました。この報告書において、チーム学校を機能させるために、スクリーニング手法を提案し掲載されました。さらに2020年3月末には、児童虐待やいじめの早期発見などを意図したスクリーニング活用ガイドが、文科省から各自治体に送付されました。2018年、2019年と、すでに取り組んでおられる自治体・学校の創意工夫や、スクリーニング効果の分析報告を共有することで、参加者みなさまの理解を広め、よりスクリーニングの活用、よい実践となるように企画しました。スクリーニングに関する問い合わせも多数いただいています。取組の創意工夫を共有し、検討しませんか。周りの方々をお誘いあわせのうえ、是非ご参加ください。



スクリーニングの意義と実際



自治体による創意工夫の共有



スクリーニング効果分析報告

お申込先：eb-ssw@sw.osakafu-u.ac.jp

記載事項：名前・所属・職名・メールアドレス（必ず連絡可のもの）・スクリーニング経験の有無

締め切り：2020年7月18日（土）13時まで

主催：大阪府立大学 21世紀科学研究センター スクールソーシャルワーク評価支援研究所

後援：大阪府教育委員会・日本ソーシャルワーク教育学校連盟



※本会は、文部科学省 教育支援体制整備事業費補助金（いじめ対策・不登校支援等推進事業）「スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの常勤化に向けた調査研究」の助成にて実施するものです。